



そなえよつねに  
ボーイスカウト

# 第13回日本アグーナリー 現地説明会報告書



日時：令和元年8月11日（日）～12日（月・祝）

会場：福島県・国立磐梯青少年交流の家

# 【目次】

1.	日程表	P 2
2.	参加者・スタッフ	P 3
3.	配布資料	P 3
4.	大会概要説明	
	大会概要	P 3
	組織図	P 3
	会場利用計画	P 4
5.	各サービスセンターから準備状況等の説明	
	各センターの掌握業務	P 5
	総合サービスセンター	P 5
	生活サービスセンター	P 7
	活動サービスセンター	P 8
	インフォメーションセンター	P 1 0
	ローバーサロン	P 1 0
	ユニファイドサービスセンター	P 1 1
	一般参加サービスセンター	P 1 2
	安全・危機管理室	P 1 2
	全体への質疑応答	P 1 3
6.	会場視察（会場写真）	P 1 4
7.	今後の準備日程等	P 2 1

※本書のフォントには、「UD（ユニバーサルデザイン）教科書体」を使用しています。

## 1. 日程表

1日目 8月11日(日)	時刻	2日目 8月12日(月)
	07	07:00 朝の集い 07:20 朝食
	08	
	09	09:00~11:00(120) 概要説明3 ・グループディスカッションの概要報告
	10	・ユニファイド、一般参加各サービスセンターの説明、安全・危機管理室の説明 ・質疑応答
	11	11:00 閉会・解散
	12	
	13	
13:40 集合・受付		
14:00~15:00(60) ・開会式、オリエンテーション ・概要説明1:会場利用計画	14	
15:00~17:00(120) 会場視察 雨天決行(雨具持参) 本館内、キャンプ場、グラウンドなど	15	
	16	
17:00 タベの集い		
17:30 夕食・休憩・チェックイン	17	
	18	
18:30~20:00(90) 概要説明2 ・総合、生活、活動、インフォメーション各サービスセンターの説明、RS サロンの説明	19	
20:00 情報交換会	20	
21:00 入浴(22:00まで)	21	
	22	

## 2. 参加者・スタッフ

参加者：20県連盟56こ団 74人

スタッフ：13NA実行委員会 11人

事務局：2人

計87人

## 3. 配布資料

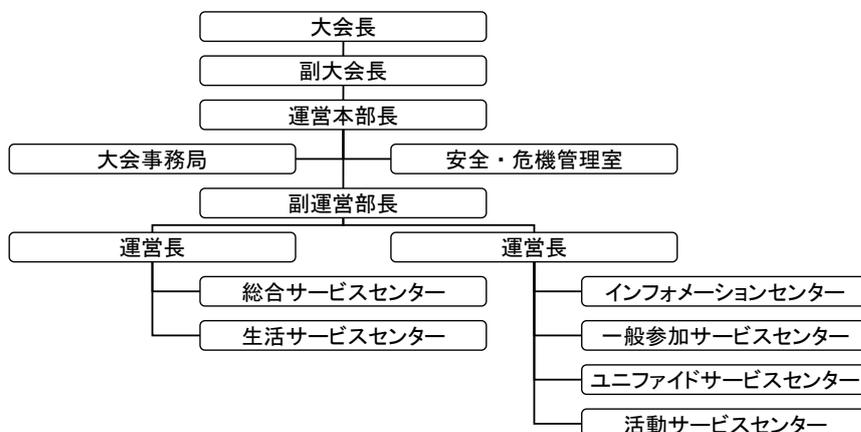
- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ①日程表            | ②参加者名簿          |
| ③基本実施要領（案）      | ④参加申込要領（案）      |
| ⑤会場利用計画（案）      | ③総合サービスセンター説明資料 |
| ⑦生活サービスセンター説明資料 | ⑧活動サービスセンター説明資料 |
| ⑨一般参加サービスセンター   |                 |

## 4. 大会概要説明

### <大会概要>

- 会 期 2020年8月12日(水)の開会式から8月16日(日)の閉会式まで  
スタッフは8月11日(火)集合
- 会 場 福島県・国立磐梯青少年交流の家 (<https://bandai.niye.go.jp/>)  
〒969-3103 福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原 7136-1
- 大会の目的 日本アグーナリーは、キャンプを通じて、全ての参加者が障がいについての理解を深め、人格と個性を尊重し支え合えあう社会の実現を目指すことを目的とする。
- 大会の目標 ①国内外の特別な配慮を必要とする青少年が相集い、自信と勇気に満ちた生活態度を自ら獲得できるよう努力する。  
②障がいのある人への理解を深め、合理的な配慮や支援が行えるようにする。  
③磐梯山麓の豊かな自然の中でのキャンプ生活を通じて、自然・人・社会との共生の大切さを体感する。

### <大会組織図>



※基本実施要領（案）から引用。今後、変更となる可能性があります。

<会場利用計画>



※今後、変更となる可能性があります。

## 5. 各サービスセンターから準備状況等の説明

### <各センターの掌握業務>

部署	所掌業務
総合サービスセンター	総合受付、総務、輸送、施設・資材、場外プログラム、見学者、遺失物に関すること
生活サービスセンター	参加者の野営・宿泊泊生活、配給・本部食堂、応急手当に関すること
活動サービスセンター	全体行事（開会式、閉会式、国際交流のタベ、磐梯のタベ）、場内プログラムに関すること
ユニファイドサービスセンター	参加隊との生活やプログラムを通じて、共生を体験する
一般参加サービスセンター	一般参加（募集、プログラム、支援）に関すること
インフォメーションセンター	広報、国際、フォーラム、信仰奨励、事前全体研修、カウンセリング、プログラム・生活などに関する相談等
安全・危機管理	大会の安全・危機管理、セーフ・フロム・ハームに関すること
大会事務局	大会の予算管理、他の部署に属さない事項に関すること

### <総合サービスセンター>

#### 1. 申し込み手続きについて

予定申し込み期間と確定申し込み期間を設ける

- ・所定の予定申し込み書に予納金を添えて2020年2月15日までに所属県連盟に提出する
- ・所定の確定申し込み書に残金を添えて2020年5月15日までに所属県連盟に提出する

#### 2. 交通について

- ・現地集合・現地解散とする
- ・大会はお盆の時期と重なっているので道路混雑が予想される。移動方法について熟慮していきたいと考えている。
- ・新宿駅から猪苗代駅まで行く高速バスがあるので、輸送計画の際に参考にして欲しい。
- ・猪苗代駅からは大会の方でピストン輸送を検討している。
- ・確定申し込みの際に各参加隊の輸送計画を調査する予定
- ・バスの集合は体験交流館駐車場として、参加書類を担当者が確認したのち、場内駐車場までを案内し入場する
- ・バス・車両の留め置き駐車については、会場から約10分の距離にある猪苗代スキー場駐車場を利用する

※荷物は会場内駐車場に設けるスペースに仮置きが可能

- ・会場と猪苗代スキー場駐車場間は大会シャトルバスを運行するので、運転手はこれを利用して会場に戻る
- ・安全確保のため、会場内を運行する車両は業務用車両と電動カート（8人乗り）のみとする

### 3. 受付

- ・受付は会場内駐車場に設置する受付テントにおいて総合サービスセンターが行う
- ・大会スタッフにおいても総合サービスセンターで行い、その後、各センターにおいて必要に応じて受付を行う

### 4. 宅急便

- ・宅配業者に会場内に荷受け場を設置していただくよう交渉している

### 5. 野営資材

- ・個人で使用する装備、備品、テント等は自己手配で持参
- ・野営する隊には、ベニヤ板・角材などの必要資材の予約販売を検討している
- ・健康管理上、氷の事前予約販売を検討している

### 6. 場外プログラム

プログラム実施日の3日間、毎日実施する。（場内プログラムと並行）

#### ①会津歴史探訪（1日コース）



※一部、有料プログラムとして実施を予定している

#### ②五色沼ハイキング（半日コース）



#### ③小野川湖カヌー体験（午後半日コース）



## ■総合サービスセンターに関する質疑応答

Q：場外プログラムは最終的にいつ決まるか？

A：場外プログラムはいま説明した3つが全てであり、毎日これを実施する計画。確定申し込みの際に希望調査を行う予定。

Q：外国参加者に対する言語の対応などはどうするか？

A：インフォメーションサービスセンターに国際班があるので、そちらで対応していく。

Q：(質問ではなく、提案)参加隊のバスや車両が集中する時間帯あるいは早朝や深夜に到着する可能性もあると思うので、ある程度大会本部の方で到着時間帯の指定など行ってはどうか？

A：事前の輸送調査のなかで各参加隊の予定を確認し、場合によっては調整をお願いしていく。

Q：(質問ではなく、提案)お盆の時期に重なっているので、調査を取ったとしても計画通りにならない場合がある。猪苗代スキー場駐車場で入退場の整理を行ってはどうか？

A：いただいたご意見も含めて担当班の方でよく検討していく。

\*その他ご意見など

・(前回、大会スタッフとして関わった身として)前回大会でも輸送調査を行っているが、参加隊からの回答がなく把握できなかった状況がある。参加隊からのご協力もお願いしたい。

## <生活サービスセンター>

### 1. 舎営について

宿泊棟の部屋割り、管理および大浴場の運営と管理を当センターで行う。

### 2. 野営管理

キャンプ場の区割り、野営具の手配と管理および炊事場の管理と運営を当センターで行う。

トイレおよびシャワーについては、既設のものに加えて、仮設のものを設置する予定である。

\*総合サービスセンターで大会の受け付けを行うと説明があったが、当センターの方で部屋割りやサイト割の案内をする受け付けを行う。駐車場で総合サービスセンターによる受け付けの後は舎営と野営それぞれの場所において受け付けをお願いしたい。

### 3. 食事

・食堂については、約300人収容規模なので、朝夕ともに3回転することが必要であり、1回30分程度を想定している。なるべく混雑ないレイアウトなどを検討していく。

・食事内容については、食べやすいもの、そして福島の名産などを組み込んでいきたいと考えている

・食券の発行を予定している

・自衛隊の方にも食堂および浴室の支援をお願いしているが、これはユニファイドサービスセンターが利用する想定なので、参加隊は施設既存の食堂、大浴場を使用していただく

- ・氷については、事前に予約を受け付けて、有償頒布を予定している。
- ・食事を提供する期間について、スタッフは8月11日の夕食から16日の昼食まで。参加隊については、12日の夕食から16日の朝食まで。なお、16日の昼食が必要な参加隊については弁当食を事前予約できるかたちを予定している
- ・プログラムで野外炊事を行う場合は、食事の代わりにそれを食べてもらう
- ・参加隊やスタッフがプログラムの都合などから弁当食が必要な場合は、当センターで手配する
- ・昼食はテイクアウトメニューを検討しているが、食堂も空けておくので希望者は利用できるようにする

#### 4. 救護について

- ・本館内の第4研修室を救護所として使用する計画だが、野外についても弓道場を応急手当の場所とする予定
- ・期間中は医師・看護師が会場内に常駐する。外部医療機関とも連携していく

#### ■生活サービスセンターに関する質疑応答

Q：屋外のつどいの広場から食堂に向かうスロープがあるが、雨天時の対応はどう考えているか？屋内ルートで階段昇降機があるが利用者が多いと混雑が予想される。

A：大会本部で今後検討していく

Q：本館から、つどいの広場に行く際に車いすだと少し遠回りしなくてはならないので、階段に仮設スロープを作ることができないか？

A：角度が急になってしまうので安全面から現時点では予定していない。

#### <活動サービスセンター>

プログラムの基本日課は以下のとおり予定している。午前に1時間を2コマ、午後に1時間を2コマ。夜のプログラムについては、全体行事後の1時間1コマ

時間帯	前日 8月11日(火)	第1日 8月12日(水)	第2日 8月13日(木)	第3日 8月14日(金)	第4日 8月15日(土)	第5日 8月16日(日)
07:00-08:30		朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
09:00-10:00		本部準備	PGM①	PGM①	PGM①	環境整備
10:00-10:30		ユニファイド 事前研修	休憩/移動	休憩/移動	休憩/移動	閉会式 (11時まで)
10:30-11:30	集合 11時		PGM②	PGM②	PGM②	
11:30-13:30	本部準備 (各PGM 運営展開)	昼食	昼食	昼食	昼食	撤宮
13:30-14:30		参加隊集合	PGM③	PGM③	PGM③	
14:30-15:00	ユニファイド 事前研修	設営 準備作業	休憩/移動	休憩/移動	休憩/移動	
15:00-16:00			PGM④	PGM④	PGM④	
16:00-19:00	夕食	夕食	夕食	夕食	16:00-17:00 休憩/ 移動	
17:00-20:00	準備作業	開会式	国際交流の 夕べ	アグーナリー フォーラム	17:00-20:00 磐梯の夕べ	
19:00-20:00	全体会議					
20:00-21:00	業務別会議		PGM⑤	PGM⑤	PGM⑤	

本大会のプログラムは次のとおり予定している。

①全体行事（晴天時はつどいの広場、雨天時は体育館）

開会式：8月12日夜、大会開始を皆で誓い、盛大に祝う

閉会式：8月16日午前、大会終了に向かう思い出確認、次大会での再会を誓い盛大に祝う

国際交流の夕べ：8月13日夜、海外からの参加隊との交流を目指す、日本からの演目も募集する

磐梯の夕べ：8月15日夜（陸上競技場）、福島県を中心とした北海道東北ブロックの出し物、浴衣OK

フォーラム：8月14日夜（体育館）、対象別で参加者の相互理解を深める

②場内プログラム

全体で約20このプログラムを予定している。

全員参加型、申し込み型、自由参加型の3つのパターンを想定している。

- ・全員参加プログラム
- ・有料プログラム
- ・アクティブプログラム
- ・ゲームプログラム
- ・会場施設プログラム
- ・体験プログラム
- ・講演、展示プログラム
- ・自由隊活動

※一部、有料プログラムとなる場合があります（調整中）



③場外プログラム

総合サービスセンターからの説明を参照

■活動サービスセンターに関する質疑応答

Q：テニスコートがプログラムエリアに計画されているが、スロープがないので車いすの導線はどう考えているか？

A：現在、テニスコートをプログラムエリアとして使用するかどうか自体を検討している。使用する場合は、車いすの対応なども検討する。

Q：基本実施要領（案）にある基本日程には夜のプログラムの時間がないが、活動サービスセンターが出されたプログラムの日課には夜プログラムの時間があるがこれの整合性は？

A：実施要領および当センターの日課ともに作成中であるため、これから確定するにあたり整理していく。なお、夜のプログラムは事前に希望を取り、人数調整を行って実施する天体観測のみ予定している。

### <インフォメーションセンター>

広報、国際、フォーラム、信仰奨励、事前研修（スタッフ・ユニファイド）、カウンセリング、プログラムや生活に関する相談を受け付けるセンターである。

#### 1. 広報

アグーナリー新聞の発行、各種SNSでの情報発信や全体行事の動画配信など計画している。なお、全体行事については、字幕対応を検討している

#### 2. 国際

海外参加隊の受け付け業務、相談窓口を担う。

3. フォーラムについて、前回は実施しているが、現在内容を検討している。

4. 信仰奨励については、各参加隊において実施していただけるように推奨していく。

### <ローバーサロン企画>

ローバーサロンとは、組織の役割としては、ローバー奉仕の統括や管理は各SCで行っていただくことはもちろんだが、奉仕するローバーの困りごとへの対応や相談などを行っていくことを目的としており、アグーナリーとして、初の試みである。また、会場内にローバーサロンを設けて、ローバーが自由時間に立ち寄ることができ、お互いに情報交換や交流を行う場所として運営する予定

#### ■ローバーサロンに関する質疑応答

Q：ローバーが大会各部に申し込みする際に、ローバーサロンの運営委員にも申し込みをすることができるとか？

A：現在の想定では、運営はローバー年代以上のスタッフ（若手）を考えているので、ローバー年代が運営委員に申し込むことはできない。ローバー年代以上の方が運営委員に申し込み方法については、現在検討している。

Q：ローバーサロンにおける自分たちでできるプログラムは何か考えているか？

A：これから検討していきたいと考えている。

Q：ローバーサロンとアグーナリーの関連はどういったところにあるのか？

A：今大会の準備を進めるなかで、これまでの評価反省などを把握するために2017年7月に全国4会場でグループディスカッションを行った。その中で、ローバースカウトが大会期間中のなかでストレスを感じてしまっているという声があった。これも踏まえて今大会ではなるべくストレスを感じることがないようにローバー同士のコミュニケーションの場を設けたいと考えている。また、実行委員会から各サービスセンターに対して、ローバー年代に限らず運営スタッフの働きやすい環境整備と心のケアをお願いしている。

## <ユニファイドサービスセンター>

### 1. ユニファイドサービスセンターについて

ベンチャースカウトが参加隊とプログラムや生活を通じて、共生を体験することにより、多様性に気づき、体験を通じて「共に生るを、考える力」が芽生えると考えている。これをバックアップする部署として本大会ではユニファイドサービスセンターを設置する。

考える力が芽生えるには3つの大きな要因が必要と考えている。

①1つは、当センターが行う芽生えるための土壌づくり、スカウトの心構え。これは事前研修やフォーラムを行うことを予定している。また、ベンチャースカウトが安心して活動できる野外生活の提供を行う。

②2つめは、プログラムを通して、この会場に訪れる全ての人とふれあうことで感じる、多種多様な影響

③そして、最も大切なのは、参加隊のみならず、そのなかでも指導者のみなさんからの影響。正しい理解をもたらし、考える方向性や力を芽生えさせるのは、その現場をいつも見ている、深く考えている、皆さんに次の世代を担うスカウトを参加者の生活やプログラムと一緒に活動することを是非、受け入れていただきたい。

### 2. ユニファイドという名称について

スペシャルオリンピックスで用いられているものだが、障がいのある方も健常の方もともに1つのチームとなってスポーツ競技に関わるものである。本大会が考える共生に当てはまるものと考えこの名称を大会のサービスセンターの名称に用いている。

### 3. 組織編制

6人を1チームとして、4チームをユニットとする。各チームでリーダーを選出し、互選によりユニットのキャプテンを置く。

### 4. 生活、課業について

- ・野営生活はユニット単位で行う
- ・食事と入浴は自衛隊からの支援を予定している
- ・参加隊との活動は原則的には専属を予定している。各参加隊と相談させていただきたい。
- ・プログラムの奉仕体験をすることがある
- ・活動時間は午前が9～12時、午後が13～16時を基本と考えているが、スカウトの意志や参加隊からの奉仕依頼内容によってそれ以外の時間も検討する。
- ・活動は原則的にはバディで行う

### ■ユニファイドサービスセンターに関する質疑応答

Q：ユニットに成人指導者がつくことはあるか？

A：安全や秩序の意味では成人指導者も携わる

Q：バディ単位での活動ということだが、申し込み時にバディで申し込み必要があるか？一人で

申し込んだ場合、大会側でバディを組むと思うが相性のマッチングなどどう対応していくか？

A：適材適所はあると思っている。参加申し込み後にアンケートなどで各自の希望などを聞きたいと考えているので、それに基づき適した場所や適した相手との組み合わせを考えていく。仮に申し込み時にバディの希望があったとしてもその通りにならない可能性があることは了承いただきたい。

### <一般参加サービスセンター>

ボーイスカウトの加盟員以外の子どもたち（一般の学校に通う子どもたちおよび特別支援学校や特別支援学級で学んでいる子どもたち）に本大会に参加してもらいたいと考えている。

#### 1. 参加対象と日程

##### (1) 通常学級の小学校3～6年生

1泊2日 20人程度（8月13～14日、14～15日）

2・3人ごとに参加隊に合流し、大会に参加してもらいたいと考えている。

必要に応じスタッフやユニファイドが同行し支援する。

##### (2) 障がいのある小学生、中学生、高校生

スタッフ・一般参加ユース・ユニファイドと共に参加隊と同様な隊編成を行い、大会に参加。

① 1泊2日コース 10組（障がい児5人引率者5人 × 2クール）（8月13～14日、15～16日）

② 2泊3日コース 5組（障がい児5人引率者5人 × 1クール）（8月14～16日）

##### (3) ユース年代

全日程参加 5人程度 一般参加SCのスタッフと共に大会に参加

##### (4) デイビジター（日帰り）

見学参加、プログラムの体験など

これについては従来通り総合サービスセンターに担当いただく。

### <安全・危機管理室>

大会の安全、危機管理およびセーフフロムハームについて担当する。

過去の大会などでは安全管理に重点が置かれているが、危機が発生した際にどう対応するかが決まっていない。本大会においては危機への対応についてもマニュアルを作成して準備を進めている。

平常時と危機発生時の組織編制と対応について検討を進めている。各サービスセンターや参加隊にも協力をお願いしていく。

## <全体的な質疑応答>

Q：カブスカウトも全期間の参加が必須なのか？

A：全期間の参加を基本としている。1日ごとに参加するデイビジターもあるので、さまざまな参加形態を検討いただきたい。ただ、大会でドリームパスポートを発行するが、これはデイビジターには発行されないので気を付けていただきたい。

Q：湯茶については、食堂のみでの支給か？食堂の開設時間しか汲むことができないのか？

A：湯茶の支給については食堂のみを予定しているが、会場内の水道水が飲料水として利用できるのもそちらをご利用いただきたい。

Q：一般参加について、期間が短い、ドリームパスポートなどの対応はどうするか？

A：配布物は通常の参加隊と同じものを配布する。ドリームパスポートのすべてをクリアすることはできないが、デアワードというものがあるのでこれに挑戦していただきたい。

Q：障がいスカウト1人と指導者1人での参加を予定しているが、その場合はどこかの隊と混成になるのか？また、混成隊の場合、障がいの度合いなど考慮されるのか？

A：過去の大会でも混成隊の対応を行っている。各参加隊の希望により編成される。

Q：18歳以上の障がいのある一般の方が参加することができるか？

A：一般参加については、まだ試行錯誤の状態なので、現時点では想定していないが、今後の要望などに応じて検討していく。

Q：公共交通機関を利用した場合、郡山からのシャトルバスなどを検討していただきたい。

A：お盆の時期なので道路混雑が予想され、公共交通機関の利用が多いのではという予想をしている。郡山からのシャトルバス運行について今後とも検討していく。参加隊からのニーズを調査していきたい。

Q：過去の大会でシルクスクリーンがスカウトに好評なので今回の場内プログラムでも検討していただきたい。

A：活動サービスセンターで検討していく。

Q：スカウトクラブのメンバーが参加を希望する場合に、加盟登録がなくても参加できるようなことを検討していただきたい。

A：本大会を通してスカウトOBやOGに協力していただきたいと思っている。セーフフロムホームへの対応など課題もある。なるべく多くの人に関わっていただきやすいように引き続き検討していく。

Q：屋外に仮設されるトイレについて障がい者トイレもあるのか？

A：屋外にも複数個所に障がい者トイレの設置を予定している。

Q：混成隊での申し込みについて、団単位を基本としているが、県連盟単位での申し込みができないか？

A：県連盟で派遣隊を組んでいただくことは構いませんが、あくまで申し込みは団の単位でお願いします。過去には県連盟を越えた混成隊で申し込みいただいたこともある。団と県連盟でよく相談していただきたい。

\*その他、大会への要望など

- ・ドラム隊として参加するので、保管場所を確保していただきたい。
- ・ユニバーサルユニットのシャワー室に洗体の台を設置していただきたい。
- ・受け付けとなる駐車場にも障がい者用のトイレを設置していただきたい。

## 6. 会場視察

参加者が多いため、2グループに分かれて会場の視察を行った。主な視察場所は以下のとおり。  
本館内、キャンプ場、グラウンド場などプログラムエリア

<本館>



・講堂（事前研修、参加隊長会議など）



・多目的ルーム



・喫茶／売店



・宿泊部屋（入口に台を設置し、段差をなくす予定）

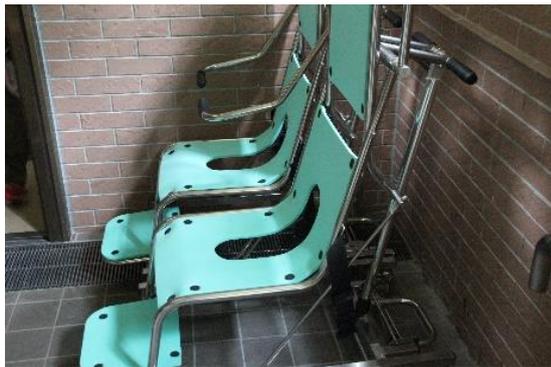


宿泊棟多目的トイレ

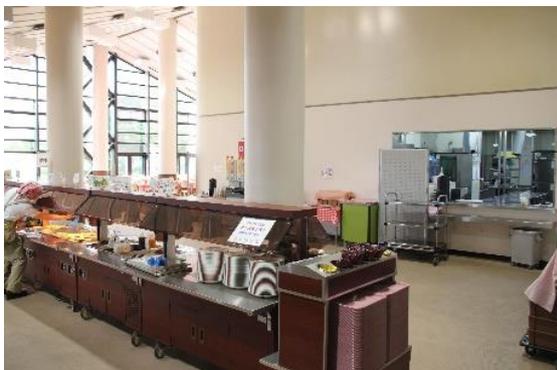
・ランドリールーム



・ユニバーサルユニット



・食堂



本館から食堂への移動(屋内)



つどいの広場から食堂への移動（屋外）



・大浴場（男女それぞれ大浴場あり）



・体育館（場内プログラム、雨天時の式典など）



・ 武道館（場内プログラム）



・ 総合研修館（場内プログラム）



<キャンプ場>



・ 既設テント



・トイレ



・炊事場（2か所）



・野外炊事倉庫



<屋外施設>

- ・つどいの広場



- ・陸上競技場／サッカー場



競技場横トイレ



- ・野球場



- ・テニスコート



・ふれあい広場



・駐車場



・ボランティア棟



・弓道場



今後の準備日程等（予定）

---

2019年

10月 基本実施要領の公開、申し込み受け開始

2020年

2月15日 予定申し込み締め切り（各団から県連盟へ）

5月15日 確定申し込み締め切り（各団から県連盟へ）

7月 参加章および資料等の送付

※本現地説明会での内容は予定や検討中のものを含んでおります。今後、大会実行委員会において議論・準備していきますので、正式な情報については日本連盟ホームページおよび各県連盟宛の文書等をご確認ください。  
※施設内の写真等については、施設に了解を得て撮影しております。また、現地説明会参加者に使用目的を了解いただき、説明会時の撮影を行っております。



公益財団法人

**ボーイスカウト日本連盟**

SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

2019年9月

第13回日本アグーナリー

現地説明会報告書